

専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 教授	氏名 森北 育宏	大学院における研究 指導担当資格の有無	有		
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
ビデオ教材を更新し最新の知識を与えている		H29前期	スポーツ傷害の受傷シーンを集めて障害予防に備える。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
「スポーツ医学テキスト」		H29前期	医学書は高いため、安く要点をまとめたテキストを安価で提供している			
「臨床スポーツ医学テキスト」		H29前期	医学書は高いため、安く要点をまとめたテキストを安価で提供している			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
学力不足に学生でも理解できるようにデフォルメした形での教育方法に変更している		H29前期	正確な知識よりも、応用できる考える力を身につける			
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁	発行所	発行地	発行年月	
復帰のためのスポーツ外傷・障害治療	宗田 大	2~3頁 8~15頁	メディカルビュー社	東京	平成23年4月	
ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種目別スポーツ障害の診療	林光俊	106頁~121頁	南江堂	東京	平成26年4月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
Effects of Light Stroking on Patient Strength and Endurance.	Masaki Shimizu, Ikuhiro Morikita	North American Journal of Oriental Medicine		33-35	平成28年	
The Motion Evaluation of Front-crawl Swimming upon Reaching the Goal on Unilateral Forearm-amputee Swimmer	Tetsuro Tanigawa1*, Kazumasa Kumamoto2, Hiroe Kataoka3, Takenori Awatani4, Ikuhiro Morikita	Advances in Physical Education		33-36	平成29年	
Correlation between isometric shoulder strength and racket velocity during badminton forehand smash movements study of vald clinical assessment methods	Takenori Awatani, MS, RPT I kuhiro Morikita, PhD, MD, Tatsuya Urata, MS, Junji Shinohara, phd, Yasutaka Tatsmi, MS	J. Phys. Sci.	30	850-854.	平成30年	
Inter rater reliability and validity of angle measurement using smartphone applications for weight bearing angle dorsiflexion range of minDrange of motion	Takenori Awatani, MS, RPT I kuhiro Morikita, PhD, MD, Tatsuya Urata, MS, Junji Shinohara, phd, Yasutaka Tatsmi, MS	J. Phys. Sci.	34	113-120	平成30年	
Clinical method to assess sholder strength related to front crawl swimming power in male collegiate swimmers	Takenori Awatani, MS, RPT I kuhiro Morikita, PhD, MD, Tatsuya Urata, MS, Junji Shinohara, phd, Yasutaka Tatsmi, MS	J. Phys. Sci.	30	1221-1226	平成30年	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
			選択			
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動					
期 間		内 容			
加入学会					
昭和58年6月～		日本整形外科学会			
平成9年5月～		日本臨床スポーツ医学会			
平成7年2月～		日本整形外科スポーツ医学会			
昭和58年6月～		日本整形外科学会			
平成25年6月～		日本臨床整形外科学会			
平成25年6月～		日本医師会			
社会的活動					
平成9年6月～		大阪府バレーボール協会 医事部			
平成8年10月～		日本スポーツ協会公認スポーツドクター			
Ⅳ 管理活動					
期 間		内 容			
委員会活動					
平成29年4月～平成31年3月		健康管理委員会			
平成29年4月～平成31年3月		研究倫理委員会			
平成29年4月～平成31年3月		入試委員会			
平成29年4月～平成31年3月		障がい学生支援委員会			
平成29年4月～平成31年3月		診療所運営委員会			
平成29年4月～平成31年3月		相談室運営審議会			
平成29年4月～平成31年3月		博士委員会			
Ⅴ クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名	ラクロス 部		2. 役職	部長 2005～	3. 部員数 30 人
4. 現場指導の頻度	③ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	0 回	延べ日数：	0 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	②	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	②	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	②	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所	
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開催期間	大会名		成 績	場 所	
Ⅵ 賞罰 (職務に関する賞罰)					
年 月	受賞等機関名	内 容		備 考	